

機動隊員等を励ます会が激励会

250人参集し交流深める

機動隊員等を励ます会中国支部(支部長・堀口勝哉堀口海運会長)が3日、広島市のANAクラウンプラザホテル広島で支部総会および激励会を開催。第一線で活躍している機動隊員や鉄鋼関連企業の会員など総勢250人が出席し、互いに交流を深めた。

冒頭、堀口支部長は「昨年はオバマ米大統領



挨拶する堀口支部長

領の広島訪問、プーチン露大統領と安倍総理との首脳会談など大規模警備が多々あった。今年は大掛かりな警備こそないが、国民の安心安全を確保するため、獅子奮迅の活躍をいただいている。我が国の犯罪認知件数は年々減少しているが、体感治安は向上したと言

い難い。治安を守る最後の砦という大いなる自負心をもって、県民の安全・安心に努めてほしい」と語った。

続いて今年6代目理事長に就いた樋口眞哉(山陽特殊製鋼社長)が「中東地域やイスラム過激派の動き



挨拶する樋口理事長

が世界に大きく影響し、我々にも無縁ではありえない。安堵(あんど)できない状況下、機動隊員の皆さんは事態に備えている。今後2〜3年は東京五輪など大きなイベントがあり、警備課題は山積。皆さん各地に派遣されるだろうが、今まで以上の使命感を持って励んでほしい」とエールを贈った。

来賓挨拶に続けて広島県警察音楽隊が楽曲を披露。広島東洋カープの日本一を祈願してテーマソングなどを演奏し、場内を大いに盛り上げた。

会員と機動隊員が談笑する中、全員が壇上で肩を組み「この世を花にするために」を熱唱。阿部浩一郎・新日鉄住金中国支店長が「多くのリスクがあるが、我々は機動隊の皆さんに守られているの思いを持ちながら、応援し続けていきたい」と力強い発声で万歳三唱し締めくくった。